

## VLBI懇談会 2011年度第2回役員会 議事録（案）

日 時 2011年11月1日（火）10:00-12:00

場 所 国立天文台三鷹 大会議室

出席者 藤沢、梅本、関戸、黒田、村田、高羽、米倉、川口、本間、小林、土居

欠席者 面高、土井、松本、徂徠、中井、中川

議事に先立ち、面高会長が今日は出席できないため、事務局長の藤沢に司会進行を任せることが提案され、了承された。以下の議事は藤沢が進行した。

### 報告

#### （1）機関報告

- 国土地理院（黒田；資料）

国内観測、UT1観測ともに順調に行われている。CONT11観測成功。

電子基準点の改定が行われた。

VLBI2010対応の新アンテナの検討が進んでいる。

- 宇宙科学研究所（村田；資料）

ASTRO-Gの状況について説明。JAXAから宇宙開発委員会に中止の方針が付議された。議事録や資料は宇宙開発委員会のHPにて公開されている。終了に向けた作業が各方面で進められている。電波専門委員会、VLBI運営小委員会、プロジェクトチーム、JAXA側にも複数の部会において。プロジェクト側としてのまとめの一部を宇宙理学委員会に報告した。1年ぐらいをめどに電波コミュニティの方向性を提示する予定。VLBI懇談会シンポジウム、宇宙電波懇談会シンポジウムで議論を行う予定。

その他、JAXAのVLBI局、人の異動、Radioastron計画、日本-イタリア協力についてなど。

- 情報通信研究機構（関戸）

34mは、地震の後、6月末から調査を実施。補正予算で改修をおこなう。12月中旬から3月まで大規模なメンテナンス作業、減速機のオーバーホールを実施する。現状では0.006度のポインティング誤差。11mアンテナは軸校正など調査の結果、問題なし。

- 茨城（米倉）

震災の影響の調査を継続。高萩局…ギヤトラブルで停止中。EIリミットをはずした。日立局は調査運用中。ポインティングに1.5分角のオフセットが乗ったらしい。現状では残差rmsは0.5分角。

- 岐阜（高羽）

11mは老朽化の対策が課題。

光結合VLBIでSINET4に接続した。FRINGEチェックを計画中。

- 山口（藤沢）

32mは駆動システムの改修を実施中。光結合も近日、接続予定。山口大学では人事2件が進行中。

12月17日に国際シンポジウムを開催、シェンさん（中国）、チョーさん（韓国）、井上さん（台湾）を招待して、講演を行っていただく。

- 国立天文台（川口）

震災の影響からはかなり復旧した。

VERAは広帯域化と2偏波化を推進中、ADS3000の導入を行っている。

## (2) その他

特になし。

### 議題

#### (1) VLBI 懇談会シンポジウムについて

第1回役員会で議論し、その後メールにて報告を行った通り、11月16-18日に大阪府立大学でVLBI懇談会シンポジウムを開催する。準備が進行し、講演募集のアナウンスも送付されている。

なお、このシンポジウムの直後、18日午後から19日にかけて同会場で受信機ワークショップが開催される。これは開催校の大阪府立大学小川研究室の特色を生かすものであり、積極的に両方の会の交流を図ってほしいことが説明された。

今回のシンポジウムでは、VLBIの将来計画をオープンに議論することが前回の役員会で決定しているが、そのことをシンポジウムのサブタイトルに反映させるか、また招待講演などを行うか、等について議論した。議論の結果、将来計画はいくつかの観点があり、特にサブタイトルで特定することはしないということになった。また招待講演をするには時期が遅いため、シンポジウムのアナウンスメールにおいて将来計画に関する発表を呼び掛ける事となった。

#### (2) VLBI 懇談会役員改選について

役員選挙の実施について、以下の議論を行った。

- 役員候補 会長として面高氏を推薦する意見があり、議論の上、承認した。事務局長は、これまでの担当機関、またVLBI懇談会への貢献度の大きさを踏まえて、情報通信研究機構の関戸氏が推薦され、承認された。機関代表幹事は、各機関から推薦された候補者を1人ずつ確認し、承認された。全国幹事は従来通り自由投票で4名選出することが了承された。
- 選挙の実施 選挙告示後、事務手続きが遅延したため、選挙日程を、11月2日：投票用紙他一式を送付、11月14日：投票締め切り、11月17日：シンポジウム時の総会で結果発表、とすることを了承した。

選挙の実施方法について、郵送による無記名投票とすることを事務局が提案し、議論を行った。まず、郵送、無記名の投票とし、開票には事務局長1人では行わず、第三者をとともに開票・集計を行うことなどが提案された。その一方、手続きの簡略化のためにメールで投票してもよいのではないか、という意見もあった。最終的に、郵送による無記名投票とすることとなった。

なお、前回の選挙で選ばれた全国幹事4名のうち3名が国立天文台のスタッフだったが、これは1機関に集中しすぎと思われるので、何らかのルールを設けてはどうかという提案があった。これについて議論をした結果、全国幹事が1機関に3名以上にならないようにすることを決めた。なお、VLBI懇談会の規約には選挙の実施規定を詳しく決めていないため、選挙の実施方法、また上記の幹事の人数制限などは、事務局が実務的に決めることで了承された。

## (3) その他

特になし。